

===

[トップページ](#)
[入院される方へ](#)
[入院されるまでの手順](#)

[入院されるまでの手順](#)

医師が入院日時をご連絡いたします。診療科の外来を受診し、入院が必要な場合、医師が入院予約のコンピューター登録を行い、後日、入院をされる診療科から、入院日時等を電話でご連絡いたします。病室に空床のないときは、しばらくお待ち願うことがあります。

患者さんのご都合により、入院日の変更や取消をされる場合、あるいは有料個室の使用のご希望等は、入院予約をされた診療科の受付へ直接ご連絡ください。

病状等により、育成医療・養育医療・更生医療・生活保護等の公費助成を受けることができますので、入院前に医師にご相談のうえ、玄関ホール(1)番医療相談窓口へお申し出ください。

多くの患者さんが入院(及び手術)を長時間待っておられるのが現状です。より円滑な入院(手術)を達成するため、またより多くの患者さんを入院診療するために、本院では、急性期を過ぎ、他院でも診療が可能と考えられる患者さんには、転院をお願いすることがあります。この趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

[トップページ](#)
[入院される方へ](#)
[入院されるまでの手順](#)

===

[トップページ](#)
[入院される方へ](#)
[入院の際の注意事項](#)

入院の際の注意事項

ネームバンド装着

入院の持ち物

携帯電話等使用について

ネームバンド装着

ネームバンドとは、「患者さんを正しく確認すること」「病棟外で患者さんに不測の事態が発生した場合でも、迅速に、お名前を確認できること」のために患者さんの手首に装着していただくものです。

入院された患者さんには検査、手術、治療などに際して、医師や看護師をはじめとして、多くの職員が関わります。初めて患者さんに対応させていただく職員もおります。このような場面で、職員が患者さんを確認させていただく手立てとさせていただきます。

患者さんに直接身につけていただくものであり、不便をおかけすることもあります。主旨をご理解いただき、装着とお名前確認時のご協力をお願い申し上げます。

外出や外泊時に取り外しを希望される場合には、職員にお伝えください。

入院の持ち物

寝間着・下着・バスタオル類・室内履き・洗面用具・ティッシュペーパー・湯飲み・箸・スプーンなど

携帯電話等使用について

本院では、携帯電話等が医療機器に誤作動等の影響を与える可能性があるとの理由により、病院内における携帯電話等の使用を規制してまいりました。近年、携帯電話の改良や医療機器の電波干渉対策の強化も進み、医療機器がその影響をほとんど受けなくなってきたことより、別紙のルールにより使用していただくこととしました。ご来院の皆様におかれましては、別紙の「使用上の注意」を守っていただき、周囲の方々の迷惑とならないようご協力をお願いいたします。

別紙「携帯電話・スマートフォン等のご使用について」

トップページ

入院される方へ

入院の際の注意事項

===

トップページ
入院される方へ
入院手続き

入院手続き

入院当日は、連絡いたしました時間までに、入退院センターへお越しください。病棟へ行かれる前に、ご自身または代理の方が必ずお手続きください。なお、入院手続きに必要な書類等は次のとおりです。

診察券
印鑑
入院申込書(兼保証書・誓約書)
病衣確認書
健康保険証、各種医療の受給者証、生活保護法医療券又は医療要否意見書
限度額適用認定書

健康保険証等の提示がない場合は、自費診療扱いとなる場合がありますのでご注意ください。
診察券・健康保険証・各種医療の受給者証等は、確認後その場でお返しいたします。
入院後、保険資格に変更があったとき、あるいは、各種医療の受給者証に変更があったときは、直ちに入退院センターへお知らせください。遅れて申し出られたときは、その間、各種医療の適用ができない場合や自費診療扱いとなる場合があります。新しい保険証等は、発行され次第入退院センターへご提示ください。
入院保証金は、必要ありません。

電話での問い合わせについて

担当
入退院センター(病棟・診療棟1階 入退院玄関そば)

受付曜日
月曜日～金曜日(休診日は除く)

受付時間
午前9時～午後5時

電話番号
06(6879)5271

※番号非通知発信による電話及び公衆電話からの電話は繋がりませんのでご了承ください。
※番号のお掛け間違いが多くなっております。番号をよくお確かめの上、お掛けください。

入退院センター

トップページ
入院される方へ
入院手続き

===

トップページ
入院される方へ
特別室料について

特別室料について

特別室の種類と設備について

区分

使用料(税込)(1日あたり)

壁芯面積(m²)

主な設備

特等S

49,500円

30

シャワールーム、トイレ、洗面台、冷蔵庫、電子レンジ、デザインキッチン、応接セット、サイドキャビネット、洋服ダンス、リクライニングチェア、大型テレビなど

特等

27,500円

30

ユニットバス、トイレ、洗面台、冷蔵庫、電子レンジ、ミニシステムキッチン、応接セット、サイドキャビネット、洋服ダンス、リクライニングチェア、テレビなど

1等S

19,800円

16

トイレ、洗面台、冷蔵庫、応接セット、テレビなど

1等A

16,500円

16~15

トイレ、洗面台、冷蔵庫、応接セット、テレビなど

1等B

11,000円

18~17

トイレ、洗面台、冷蔵庫、応接セット、テレビなど

1等C

9,900円

16

洗面台、冷蔵庫、応接セット、テレビなど

2等A

7,700円

16(平均)

トイレ、洗面台、テレビ(有料)、冷蔵庫(有料)など

2等B

5,500円

16(平均)

洗面台、テレビ(有料)、冷蔵庫(有料)など

料金は消費税(10%)込みです。なお、助産の場合は非課税となります。

特別室の室数は、病棟により異なりますのでご希望に添えない場合があります。

特別室を希望される場合は「特別室使用申込書」をご提出ください。

特別室料は、健康保険等の対象外で全額自己負担となり、入院費に別途加算されます。

特別室料は、1日あたり(入院日・退院日・外泊日含む)の料金がかかります。例えば、1泊2日(1等B使用)の場合 11,000円×2日=22,000円の料金をお支払頂くこととなります。

「病棟別特別室一覧」はこちらから【PDF版】

トップページ

入院される方へ

特別室料について

===

トップページ

入院される方へ

入院費のお支払いについて

入院費のお支払いについて

入院費は、入院される患者さんの病名(病状)に応じて定められた1日当たりの定額の点数を基本に計算します。なお、手術・処置、検査の一部、退院処方等については、別途加算されます。

※労災や病名によっては、従来通り「出来高払い方式」で算定します。「出来高払い方式」とは、基本診療料、投薬料、注射料、処置料、手術・麻酔料、検査料、画像診断料、指導・管理料等、健康保険法の定めるところに従って計算する方式です。

別途、入院時食事療養費(標準負担額)がかかります。

入退院日は、その時間にかかわらず1日分の料金となります。

入院中の入院費は、毎月10日ごろに前月分を計算し、請求書を病室にお届けしますので、入院中の方は20日以内にお支払いください。

また、退院時には、入退院センターで請求書をお渡ししますので、当日中にお支払いください。

入院費の内、伝票整理の遅れ等で、退院後に追加の請求をさせていただくことがありますので、ご承知おきください。

お支払いは、外来棟玄関ホール、または、入退院センターの自動支払機をご利用ください。

外来棟玄関ホール

平日8時30分から17時30分(休診日を除く)

入退院センター

24時間年中無休(土日祝休日もご利用可能です。)但し、23時30分から翌0時30分の1時間と、平日7時30分から8時30分の内約40分間はメンテナンスのため、ご利用できません。また、適宜メンテナンス等のため、ご利用できない場合があります。

お取扱い上のご注意

自動支払機でのお支払いには、本院の診察券が必要です。

現金のほか、クレジットカード（JCB・VISA・UFJ・アメリカンエクスプレス・ニコス・マスター・ダイナースクラブ）、及び、デビットカード（銀行カード）がお使いいただけますが、カードご利用の場合は、暗証番号が必要です。

各種カードをご利用の際には、限度額をご確認の上、ご利用ください。なお、限度額についての詳細は、各カード会社及び各金融機関にお問い合わせください。

デビットカードでのお支払いの場合は、各金融機関によって利用可能時間が異なりますので、ご確認ください。

領収書は所得税の医療費控除・高額療養費の払い戻し等に必要です。領収書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

入院費について、わからないことがありましたらお支払い前に入退院センターへお問い合わせください。

支払方法についてのお問い合わせは、(7)番窓口へお願いいたします。

限度額適用認定証を提示していただくと窓口でのお支払いが少なくなる可能性があります。

詳しくは保険者にお問い合わせ下さい。

入退院センター

トップページ

入院される方へ

入院費のお支払いについて

===

トップページ

入院される方へ

看護について

看護について

入院中の看護は、看護師がいたしますので付添は必要ありません。
症状等により医師が必要と認めた場合に限り、ご家族の付添が認められます。この場合、「付添家族許可願」を提出していただきます。（付添者の食事及び寝具等は、ご自身で手配願います。）

トップページ
入院される方へ
看護について

===

トップページ
入院される方へ
面会について

面会について

新型コロナウイルス対策のための面会制限について（令和5年10月2日現在）
10月2日から面会受付方法と場所を変更しました。

面会者は、満16歳以上の方2名までに限ります。（家族、知人）
面会時間は13時～18時の間で、30分以内です。
面会はデイルーム、個室、回復室内に限ります。（個室でない病室での面会はできません）

【日用品受け渡し・医師の病状説明】

日用品受け渡し（ご家族1名限定）、医師の病状説明等のため来館された際を含め、PCR検査陰性証明書の提示は不要です。

【注意事項】

入館の際には、1階入退院センター前で手指衛生の上、検温、受付用紙への記入をお願いします。面会札をかけて病棟に上がり、記入した受付用紙は病棟の職員にお渡しください。面会を終えられた後は面会札を1階でご返却ください。

エレベータ横で「面会時の注意」動画を流していますので、視聴されたことがない方は必ず視聴してください。

本院へ入館中はマスク(可能な限り不織布マスク)を着用してください。

フェイスシールド・アイシールドでは入館できません。

発熱、咳、吐き気、下痢等、体調不良の方は入館できません。

患者さん、医療者の感染を防ぐため、ご理解、ご協力をお願いします。

2023年10月2日大阪大学医学部附属病院 病院長

オンライン面会のご案内

◆現在、NICU・GCU、西6階病棟、精神科で案内された方のみご利用いただけます。

オンライン面会システムのご利用はコチラ

初回登録

ログイン 面会予約/オンライン面会開始

トップページ

入院される方へ

面会について

===

トップページ

入院される方へ

各種証明書の発行について

各種証明書の発行について

証明書の発行は、外来棟1階⑧番「診断書等受付」窓口へお申し出ください。死亡、出生等の証明書を除き、平日(8:30～17:30)のみとなります。

生命保険会社に提出する診断書・入院証明書等は、原則、退院日が確定してから、外来棟1階⑧番「診断書等受付」窓口(平日8:30～17:30)へお申し出下さい。なお、⑧番窓口で退院日の確認ができない場合、お受けできないことがありますので、ご了承ください。

退院後に入院に関する証明書等が必要な場合は、⑧番「診断書等受付」窓口にお申し出ください。郵送によるご依頼は、お断りしております。

電話での問い合わせについて

担当

診断書受付窓口

受付曜日

月曜日～金曜日(休診日は除く)

受付時間

午前9時～午後5時

電話番号

06(6879)5298

※番号非通知発信による電話及び公衆電話からの電話は繋がりませんのでご了承ください。

※番号のお掛け間違いが多くなっております。番号をよくお確かめの上、お掛けください。

トップページ
入院される方へ
各種証明書の発行について

===

トップページ
入院される方へ
退院手続きについて

退院手続きについて

退院は医師の許可があってから、看護師の指示に従ってください。
更衣ロッカー、床頭台の中に忘れ物がないことをご確認のうえ、ロッカーの鍵はナースステーションへお返しください。
診察券・健康保険証・各種医療受給者証を入退院センターに提示して、退院後の「外来受診予約票」(「入院諸料金納付書」を含みます)を、お受取りください。
退院後3ヶ月以内に、他の保険医療機関に入院される場合、入院期間の証明書類(退院証明書)が必要になります。本院の退院証明書が必要な方は、入退院センターにお申し出ください。

トップページ
入院される方へ
退院手続きについて

===

トップページ
入院される方へ

宿泊施設(春日丘ハウス)に関するご案内

宿泊施設(春日丘ハウス)に関するご案内

病院を受診する為に事前に宿泊が必要になる方、ご家族が入院されることになり付き添われる際に宿泊が必要になった方に利用して頂ける施設です。
問い合わせ先

大阪大学ハウジング課
TEL:06-6879-7948

春日丘ハウス管理人室
TEL:0726-26-6228

さらに詳しいご案内はこちら
(http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/BandB/kasugaoka_house)

トップページ
入院される方へ
宿泊施設(春日丘ハウス)に関するご案内

===

トップページ
医療通訳のご案内

医療通訳のご案内

本院の基本方針に基づく安全で質の高い医療を提供するには、患者さんと医療従事者の十分なコミュニケーションが不可欠です。日本語でのコミュニケーションが全くできない、もしくは制限のある患

者さんには、医療通訳がお手伝いいたします。患者さんもしくは医療従事者が必要と判断した場合、下記の通り事前予約制・時間当たりの料金で手配させていただきます。ただし、言語によっては手配できない場合もありますので、ご了承お願いいたします。

区分
時間
料金(消費税込)

外来
2時間まで
3,850円

2時間を超えて4時間まで
6,380円

入院
1時間まで
1,320円

1時間を超えて2時間まで
3,850円

2時間を超えて4時間まで
6,380円

対応言語

対面通訳:中国語、英語

遠隔医療通訳:(ビデオ)中、英、韓国、スペイン、ポルトガル、ベトナム、ネパール

(電話)中、英、韓国、スペイン、ポルトガル、ベトナム、タイ、タガログ、ネパール、インドネシア、マレー、ミャンマー、ロシア、フランス、ドイツ、イタリア、クメール、モンゴル、シンハラ、ヒンディー、ベンガル

通訳者の手配が叶わない場合もございますので、ご了承頂きますようお願い申し上げます。

前日の午前11時以降のキャンセルは、キャンセル料を頂きます。(外来 3,850円、入院 1,320円)

キャンセルや予約変更をする場合は、info@cggh.med.osaka-u.ac.jpまでご連絡ください。

「付則」

この規程は平成26年7月1日から実施する。

この規程の一部を改訂し、令和5年10月1日から実施する。

医療通訳は対面、遠隔医療通訳(ビデオ、電話)を含む。

中国語(PDF)

英語(PDF)

トップページ

医療通訳のご案内

===

トップページ

入院される方へ

病院のルールについて

病院のルールについて

院内での喫煙、飲酒、身体的暴力、暴言、威嚇行為等の脅迫的言動、セクハラ行為、及び他の患者さん等への迷惑行為は絶対にお止めください。

脅迫的言動や迷惑行為に対して、医師・看護師等病院職員の指示に従わなかった場合、受診の中止や院外に退去していただくことがあります。

警察介入が相当と判断した場合は、直ちに通報します。

携帯電話及び無線LAN(Wi-Fi)は、「使用上のご注意」を守り許可された区域で使用してください。

院内で、スマートフォンや携帯電話を操作しながらの歩行は大変危険です。自身だけでなく、周囲の患者さんを巻き込む事故につながることもありますので、「歩きスマホ」はお止めください。

各診療科外来等のコンセントは、医療機器及び業務用に設置していますので、携帯電話の充電のためのご使用はお止めください。

プライバシー保護、施設の安全管理上、無断の写真・ビデオ撮影及び録音はご遠慮願います。

院内でのセールス・勧誘活動は禁止です。

院内の設備、機器及び備品等は、大切に取り扱いってください。

本院は、敷地内全面禁煙です。

本院では、化学物質過敏症による健康被害を防ぐため香料(香水・整髪料・高残香タイプの柔軟剤など)の自粛をお願いしています。

[トップページ](#)

[入院される方へ](#)

[病院のルールについて](#)

===

[トップページ](#)

[入院される方へ](#)

[お薬についてのご案内](#)

[お薬についてのご案内](#)

[患者さん皆さん対象](#)

[外来の患者さん対象](#)

患者さん皆さん対象

後発医薬品について

医薬品は、多くの年月と多額の開発費をかけて新しい効き目と安全性を確認して開発されるため、一定期間は知的財産として特許で守られます。特許期間の終了後に先発医薬品と同じ成分、同じ使用法の医薬品として厚生労働省の承認を経て発売される医薬品が、後発医薬品（ジェネリック医薬品）と呼ばれるものです。後発医薬品は、開発に要する費用が格段に少なく済むため、先発医薬品に比べ原価が下がり、患者さんの一部負担金もほとんどの場合安くなります。ただし、添加物等が同じでない場合や先発医薬品と後発医薬品で効能または効果が一部異なる場合がありますので、使用には注意が必要な場合があります。

バイオシミラー製剤について

「バイオ医薬品」とは、遺伝子組み換え技術や細胞培養技術等を応用して、微生物や細胞がもつタンパク質（ホルモン、酵素、抗体等）等を作る力を利用して製造される医薬品です。先行バイオ医薬品と同等/同質の品質、安全性および有効性を有し、異なる製造販売業者により開発される医薬品を「バイオシミラー製剤（バイオ後続品）」と言います。ジェネリック医薬品と同様、多くの場合は患者さんの一部負担金が安くなりますが、高額療養費制度が適用される場合など、安くない場合もあります。

詳細はこちら

入院を予定されている患者さんへ

当院では入院中の薬物治療をより安全なものとするために、患者さんが入院前からご使用中のお薬（他院で処方されたお薬や市販薬・健康食品等を含む）の情報や服用状況を保険薬局で確認してもらうことをお願いする場合があります（保険薬局から当院にお薬情報等が提供されます）。当院薬剤部でお渡しした書類を持参の上、入院前に保険薬局で面談を受けてください。どの保険薬局でもご利用いただくことはできますが、面談日時については保険薬局にご相談ください。

外来の患者さん対象

院外処方箋について

当院では原則として院外処方箋を発行しています。

院外処方箋への臨床検査値等の表示について

患者さんにより安全にお薬をお届けするために、令和3年4月から当院で発行するすべての院外処方箋に患者さんの臨床情報を表示しています。保険薬局（院外薬局）では、院外処方箋に表示された情報に基づいて、適切なお薬の量が処方されているか、お薬の副作用が出ていないか等を確認します。病院のスタッフだけでなく薬局の薬剤師もお薬の確認を行うことで、より安全な薬物治療の提供や副作用の防止・早期発見が可能となります。ご理解・ご協力のほど宜しくお願い致します。

詳細はこちら

外来受診時の後発医薬品の取り扱いについて

医療機関が発行する処方箋に「後発医薬品への変更不可」の指示がない場合、後発医薬品への変更が可能となりますが、保険薬局にて患者さんが変更を希望されない場合は先発医薬品を受け取ることが出来ます。後発医薬品が調剤されたか不明であるため、次回受診時に保険薬局にて交付された情報提供用紙（お薬の説明書）かお薬手帳を持参いただき、主治医に提示して下さい。

一般名処方について

「一般名(いっぱんめい)処方」とは「銘柄名(めいがらめい)処方」と異なり、薬の有効成分をそのまま薬品名として処方することです。流通が不安定な後発医薬品の場合でも、一般名処方であれば薬局で入手可能な銘柄を調剤できるメリットがあることから、当院でも一部の医薬品において一般名処方による処方箋の交付を行っています。

詳細はこちら

トップページ

入院される方へ

お薬についてのご案内

===

トップページ

外来受診される方へ

未承認等の医薬品及び医療機器の使用に関する情報公開

未承認等の医薬品及び医療機器の使用に関する情報公開

医薬品及び医療機器を定められた方法以外で使用する場合に、患者さんへの説明を省略する治療についての情報を公開しています。

医薬品及び医療機器は、法律(医薬品医療機器等法)に基づき厚生労働大臣が承認した方法で使用することが原則です。しかし、治療上の必要性から、やむを得ず承認された方法とは異なる使用(適応外使用)や未承認の成分(未承認薬)を使用する場合があります。そのような治療を新たに開始する場合は、病院内の会議(未承認新規医薬品等診療審査部)で、治療上の必要性や有効性・安全性等の懸念について審議し、妥当と判断された場合に限り使用を認めることとしています。上記で承認された治療を実施する場合、患者さんの同意を得ます。しかしながら、倫理的な問題が極めて少ない場合は、病院のホームページ上にて情報公開のもと、同意取得を例外的に簡略化することを病院内の会議で承認しています。当該治療を希望されない場合、患者さんは、当該治療を拒否することができます。本件についてご質問がある場合は、かかりつけの診療科の外来主治医までお知らせください。

承認された治療法

詳細は、「詳細はこちら」からご確認ください。

実施内容
対象者
承認日
対象期間

重症ケアユニットにおける、高濃度カリウム注射製剤を用いたカリウム補正
当院で治療を受ける患者さんで、低カリウム血症を来した患者さん

2021.10.11

2021.10.11～永続

詳細はこちら

ケナコルト-A®筋注用関節腔内用水懸注を用いた硝子体可視化
硝子体手術が必要な症例

2023.6.1

承認後からマキュエイド眼注用®40mg供給が再開され使用できるまで

詳細はこちら

ケナコルト-A®筋注用関節腔内用水懸注を用いたテノン嚢下注射
糖尿病黄斑浮腫または非感染性ぶどう膜炎にともなった黄斑浮腫を来した症例

2023.6.1

承認後からマキュエイド眼注用®40mg供給が再開され使用できるまで

詳細はこちら

トップページ

外来受診される方へ

未承認等の医薬品及び医療機器の使用に関する情報公開

===

トップページ
入院される方へ
患者さんへのご協力をお願い

患者さんへのご協力をお願い

大阪大学医学部附属病院は「良質な医療を提供すると共に、医療人の育成と医学の発展に貢献する」という理念を掲げた大学病院です。本理念を遂行するにあたり、医療人育成、医学教育及び臨床開発・研究を行うため、以下のように学生や他医療機関の医療者及び非医療従事者等が診療に立ち会う場合があります。診療への立ち会いに際しては、診療に支障がないよう十分に配慮いたします。何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

優れた医療人育成のための施設として、診療の場に学生や他医療機関の医療者等が見学、参加することがあります。

未来医療のための研究開発に必要な医学的情報等の収集のため、診療の場に大学・医療機器関連企業の研究者(非医療従事者)が立ち会う場合があります。

トップページ
入院される方へ
患者さんへのご協力をお願い